

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】<http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

保守 / 廃止

EP-753017GC-R,
EP-753017GK-R
エミュレーション・プローブ

本製品は外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当しますので、日本国外に輸出する場合には、同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。

本資料の内容は、後日変更する場合があります。
文書による当社の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。
この製品を使用したことにより、第三者の工業所有権等にかかわる問題が発生した場合、当社製品の構造製法に直接かかわるもの以外につきましては、当社はその責を負いませんのでご了承ください。

巻末にアンケート・コーナーを設けております。このドキュメントに対するご意見をお気軽にお寄せください。

はじめに

対象者 このマニュアルは、IE-75001-R+IE-75300-R-EMとEP-753017GC-RまたはEP-753017GK-Rを使用して、 μ PD753017サブシリーズのデバッグを行うユーザを対象とします。

備考 IE-75001-Rは、IE-75000-R（保守品）からIE-75000-R-EMを取り除いた状態の製品です。なお、IE-75001-Rの代わりにIE-75000-Rも使用できます。その場合は、IE-75000-Rに内蔵されているIE-75000-R-EMを、IE-75300-R-EMに差し替えて使用してください。

目的 このマニュアルは、IE-75001-R+IE-75300-R-EMにEP-753017GC-RまたはEP-753017GK-Rを接続する方法とマスク・オプションの設定方法を理解していただくことを目的とします。

構成 このマニュアルは、大きく分けて次の内容で構成しています。

概説
接続方法
マスク・オプションの設定方法

読み方 このマニュアルを読む前に、IE-75001-R、IE-75300-R-EMのマニュアルを読んで、デバッグ・システムの構成と機能を理解しておいてください。

このマニュアルでは、特に違いのないかぎり、EP-753017GC-Rを代表品種として説明しています。EP-753017GK-Rのマニュアルとしてご使用の場合は、EP-753017GC-RをEP-753017GK-Rと読み替えてください。

また、インサーキット・エミュレータとしてIE-75000-Rをご使用の場合は、IE-75001-RをIE-75000-Rと読み替えてください。

なお、特に注意のないかぎり、IE-75001-Rは、IE-75001-R+IE-75300-R-EMの状態を示しています。

- 一通りEP-753017GC-RまたはEP-753017GK-Rの機能、接続方法を理解しようとするとき目次に従って読んでください。
- 動作環境、構成、対象デバイスを理解しようとするとき「**第1章 概説**」を読んでください。
- 具体的な接続方法を理解しようとするとき「**第2章 接続**」を読んでください。

- マスク・オプションの設定方法を理解しようとするとき
「第3章 マスク・オプションの設定」を読んでください。

凡 例 注 :本文中につけた注の説明
注意:特に注意していただきたい内容
備考:本文の補足説明

関連資料 IE-75000-R/IE-75001-R ユーザーズ・マニュアル(資料番号:EEU-846)
IE-75300-R-EM ユーザーズ・マニュアル(資料番号:EEU-951)

**梱包内容
の 確 認** EP-753017GC-R, EP-753017GK-Rの梱包箱の中には次のものが入っています。お確かめください。万一、不足や破損などがありましたら、当社販売員、または特約店までご連絡ください。

エミュレーション・プローブ	1本
アダプタ・ボード	1枚
ユーザーズ・マニュアル(このマニュアル)	1冊
スペーサ(ネジ2個付き) ^{注1}	1個
取り付けネジ ^{注2}	2個
変換ソケット ^{注3} (EP-753017GC-Rに添付:EV-9200GC-80)	1個
変換アダプタ ^{注3} (EP-753017GK-Rに添付:EV-9500GK-80)	1個

注1.アダプタ・ボードとIE-75300-R-EMの接続に使用します。

2.エミュレーション・プローブとIE-75001-Rの接続に使用します。

3.エミュレーション・プローブとターゲット・システムの接続に使用します。

目 次

第1章	概 説	...	1
1.1	動作環境	...	1
1.2	構 成	...	2
1.3	対象デバイス	...	5
第2章	接 続	...	7
2.1	IE-75001-Rとターゲット・システムの接続	...	7
2.2	電源投入, 切断の順序	...	14
2.3	ターゲット・システムからのエミュレーション・プローブの取り外し方	...	15
第3章	マスク・オプションの設定	...	17
3.1	ポート4, ポート5用マスク・オプションの設定	...	17
3.2	LCD駆動用分割抵抗の設定	...	18
付録A	エミュレーション・プローブのピン対応表	...	19
付録B	変換ソケット (EV-9200GC-80) の外形図と基板取り付け推奨パターン	...	21

保守 / 廃止

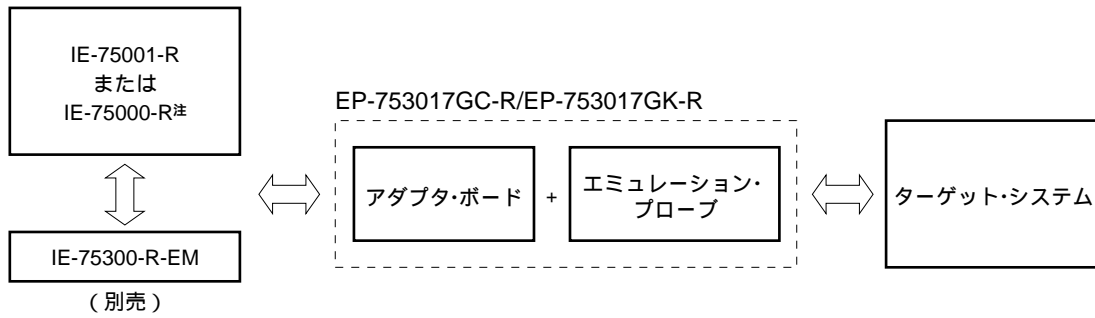
第 1 章 概 説

本章では，EP-753017GC-Rの概要について説明します。

1.1 動作環境

EP-753017GC-Rは，IE-75001-Rとターゲット・システムを接続するためのプローブ・セットです。EP-753017GC-Rを用いて接続を行うことにより，μPD753017サブシリーズのディバグ環境が整い，ターゲット・システムのハードウェアおよびソフトウェアの総合ディバグが行えます。具体的な接続方法については第2章 接続を参照してください。

図 1 - 1 IE-75001-Rとターゲット・システムとの接続



注 IE-75000-Rに内蔵されているIE-75000-R-EMを，IE-75300-R-EMに差し替えて使用してください。

1.2 構 成

EP-753017GC-Rは、エミュレーション・プローブとアダプタ・ボードのセットになっています。

(1) エミュレーション・プローブ

エミュレーション・プローブは、次の3つから構成されています。

80ピンGCプローブまたは80ピンGKプローブ

IE-75001-Rとターゲット・システムを接続します。

アース・クリップ

ターゲット・システムのGNDに接続します。IE-75001-Rとターゲット・システムのGND電位が同一となり、静電気やノイズに対し強くなります。

外部センス・クリップ

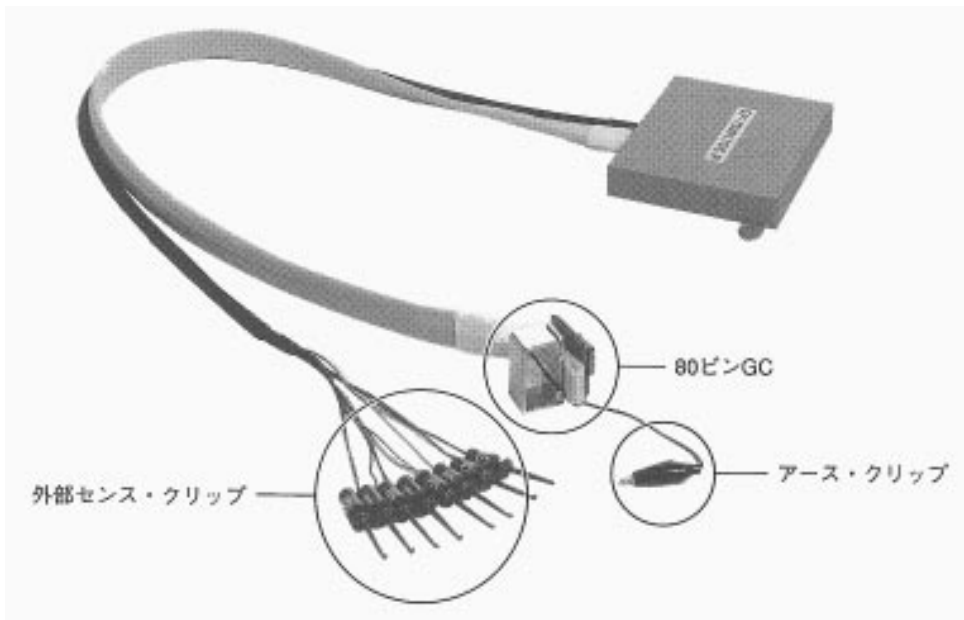
8本のセンス・クリップで構成されています。ターゲット・システムに搭載されているICの端子の電圧レベルを調べるために用います。

(2) アダプタ・ボード

アダプタ・ボードは、エミュレーション・ボード(IE-75300-R-EM)とエミュレーション・プローブを接続するためのボードです。また、アダプタ・ボードにはマスク・オプションの設定を行う機能があります。詳細は第3章 マスク・オプションの設定を参照してください。

図1 - 2 エミュレーション・プローブ

(a) EP-753017GC-R



(b) EP-753017GK-R

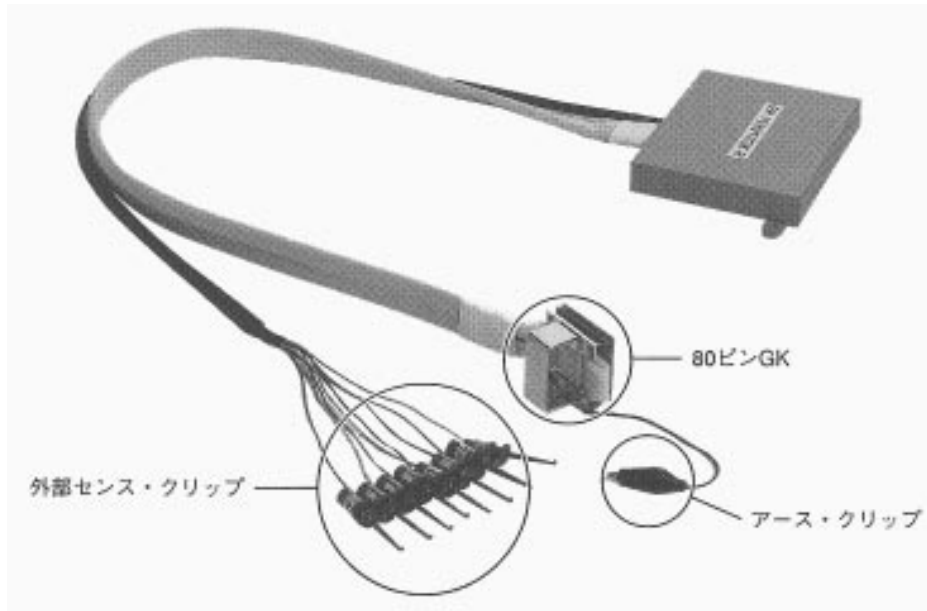
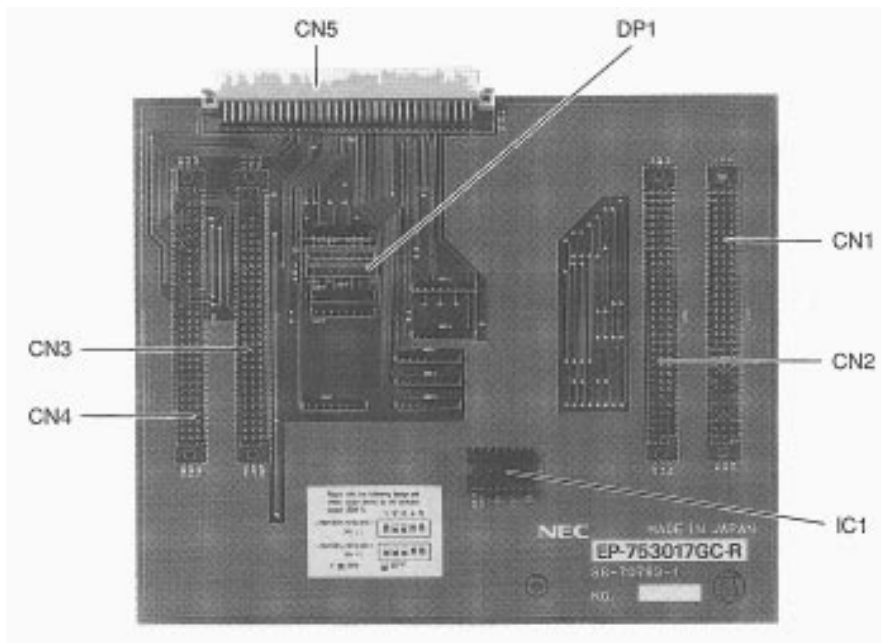
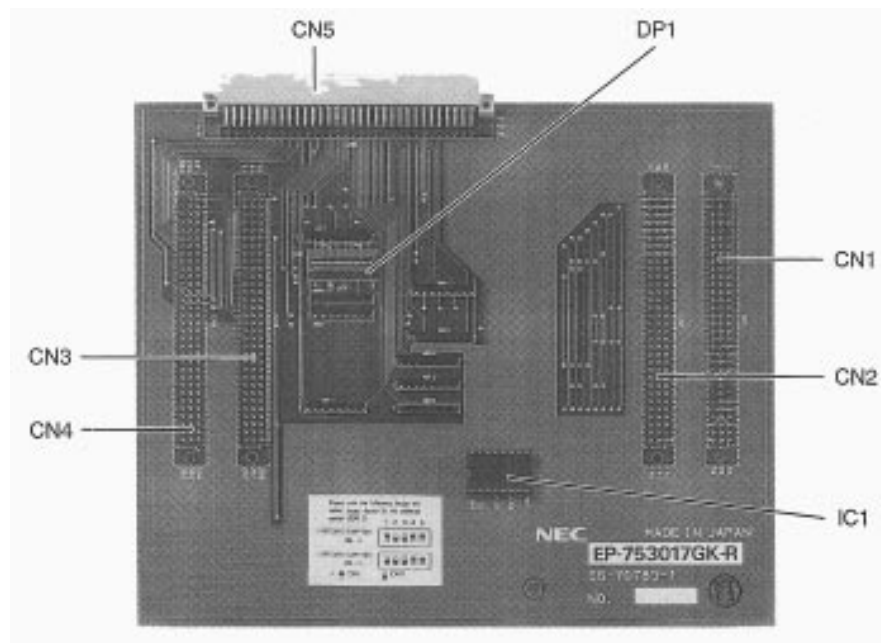


図1-3 アダプタ・ボード

(a) EP-753017GC-R



(b) EP-753017GK-R



1.3 対象デバイス

EP-753017GC-Rは、次の対象デバイスのエミュレーションに使用します（1994年4月現在）。

75XLシリーズ

- μ PD753012GC
- μ PD753012GK
- μ PD753016GC
- μ PD753016GK
- μ PD753017GC
- μ PD753017GK
- μ PD75P3018GC
- μ PD75P3018GK

保守 / 廃止

第2章 接 続

本章では、EP-753017GC-Rの接続方法、電源投入、切断の順序、ターゲット・システムからのエミュレーション・プローブの取り外し方について説明します。

2.1 IE-75001-Rとターゲット・システムの接続

接続手順の概要は次のとおりです。

(1) IE-75300-R-EMとアダプタ・ボードの接続

IE-75001-Rの電源を切ります。

IE-75300-R-EMとアダプタ・ボードを接続します。

IE-75300-R-EM (アダプタ・ボード付き) をIE-75001-Rにインストールします。

(2) IE-75001-Rとエミュレーション・プローブの接続

(3) エミュレーション・プローブとターゲット・システムの接続

ターゲット・システムの電源を切ります。

変換ソケットまたは変換アダプタをターゲット・システムに半田付けします。

エミュレーション・プローブの先端を変換ソケットまたは変換アダプタに差し込みます。

(4) 外部センス・クリップの接続 (外部センス・クリップを使用する場合)

(5) 電源の投入

次に、各項目の詳細な接続手順を説明します。

(1) IE-75300-R-EMとアダプタ・ボードの接続

アダプタ・ボードをIE-75300-R-EMに接続します。

IE-75300-R-EMとアダプタ・ボードの間にスペーサをはさみながら、IE-75300-R-EMのCN1-CN4と、アダプタ・ボードのCN1-CN4を接続します。

IE-75300-R-EMとアダプタ・ボードの間に取り付けたスペーサを、スペーサ用の取り付けネジで固定します。

IE-75001-Rの電源を切ります。

IE-75001-R本体上面のネジ（6箇所）を外して、本体上面のフタを開けます。

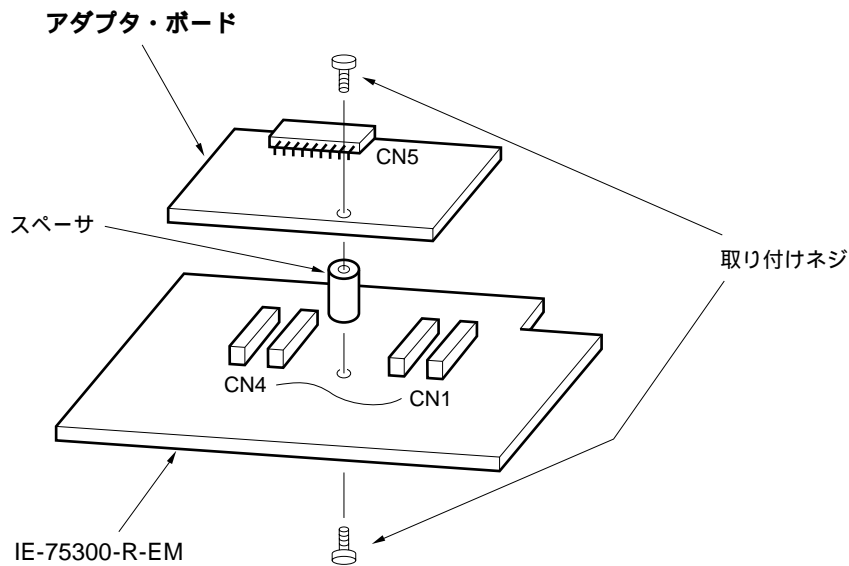
ボードの両端にあるカード・プラーを手前に引いて、IE-75000-R-BKを抜き取ります^注。

IE-75300-R-EMとIE-75000-R-BKをネジで留めます。

IE-75300-R-EMを取り付けたIE-75000-R-BKをIE-75001-R本体の元の位置に戻します。

注 IE-75000-Rの場合、IE-75000-R-EMとIE-75000-R-BKがネジ留めされた状態でインストールされています。したがって、上記の順で本体からIE-75000-R-BKを抜き取り、ネジ留めを外し、IE-75000-R-EMを取り外してからの順で作業を行ってください。

図2 - 1 IE-75300-R-EMとアダプタ・ボードの接続

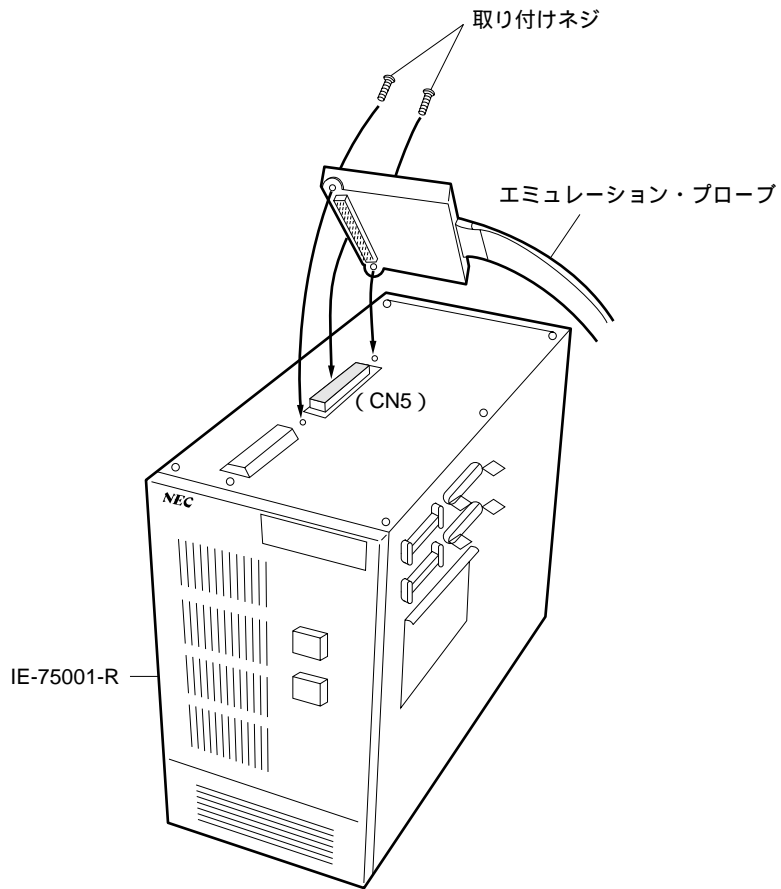


(2) IE-75001-Rとエミュレーション・プローブの接続

IE-75001-R上部のエミュレーション・プローブ接続用DINコネクタ(アダプタ・ボードのCN5)にエミュレーション・プローブを接続します。

接続後、エミュレーション・プローブとIE-75001-Rは必ず取り付けネジで固定してください。

図2-2 IE-75001-Rとエミュレーション・プローブの接続



(3) エミュレーション・プローブとターゲット・システムの接続

エミュレーション・プローブとターゲット・システムを次の順序で接続します。

- 注意1** . エミュレーション・プローブをターゲット・システムに接続する前に、必ずアース・クリップを先に接続してください。アース・クリップを接続しないと静電気などによりIE-75001-Rが破壊される場合があります。
- 2** . 接続の際には、ピンの逆差しに注意してください。誤って接続すると、IE-75001-Rが破壊される場合があります。

ターゲット・システムの電源を切ります。

変換ソケット (EV-9200GC-80) または変換アダプタ (EV-9500GK-80) をターゲット・システムに半田付けします。

エミュレーション・プローブのアース・クリップをターゲット・システムのグラウンド (GND) に接続します。

エミュレーション・プローブ本体先端の80ピンGCまたは80ピンGKと、 でターゲット・システム上に半田付けした変換ソケットまたは変換アダプタの1番ピンが合うようにして、エミュレーション・プローブを差し込みます。

図2 - 3 80ピンGCエミュレーション・プローブの接続

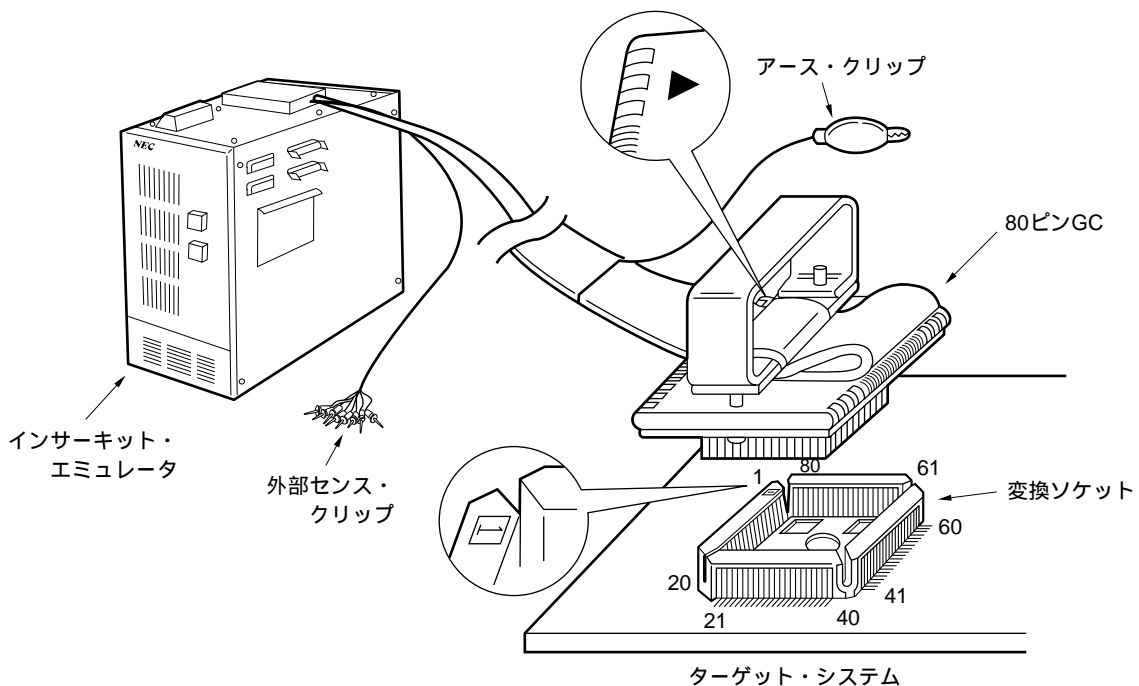
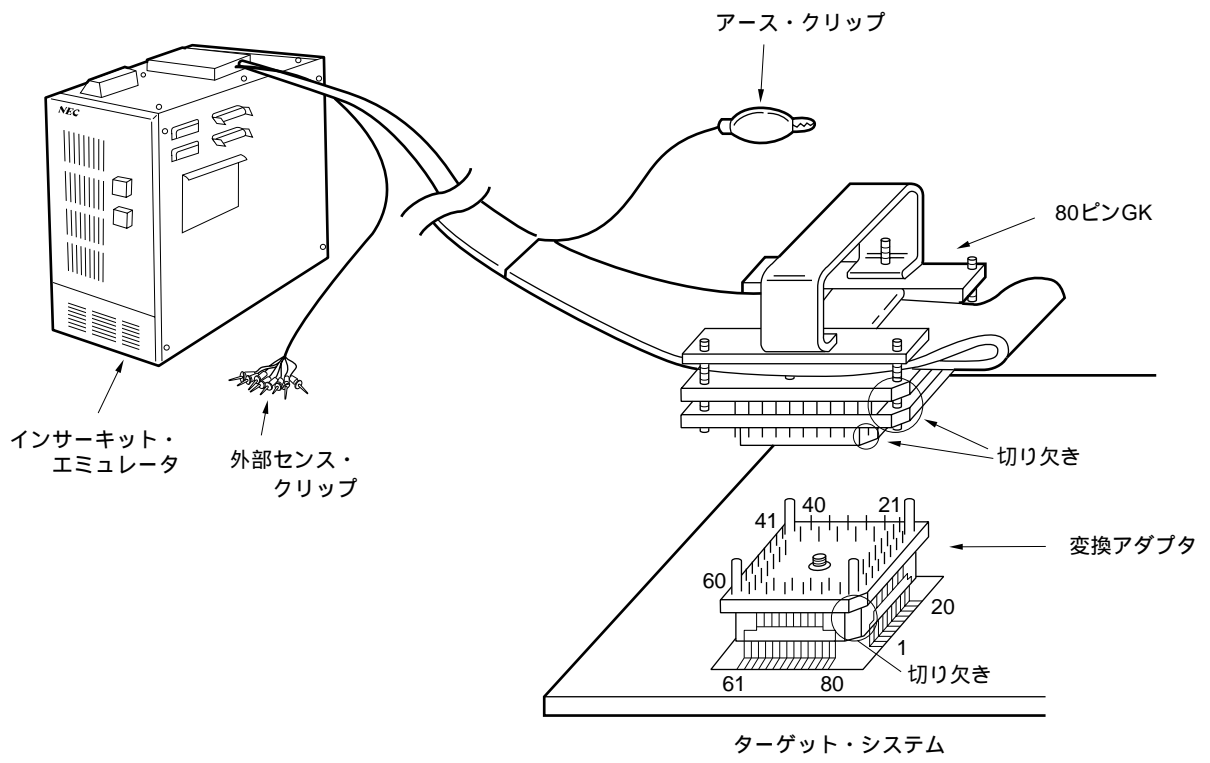


図2 - 4 80ピンGKエミュレーション・プローブの接続



(4) 外部センス・クリップの接続

エミュレーション・プローブは、ターゲット・システム上のハードウェアの信号をリアルタイムでトレースできる8本の外部センス・クリップを備えています。

外部センス・クリップは、インサーキット・エミュレータ本体内の入力バッファHCT244に直接接続されているため、TTLレベル入力となります。

また、通常、8本の外部センス・クリップは入力信号線となっていますが、インサーキット・エミュレータのOUTコマンドの設定により、外部センス・クリップ1番の信号線をイベント発生時の外部へのトリガ出力信号線として使用することができます（詳細はインサーキット・エミュレータのマニュアルを参照してください）。

- 注意1** . 外部センス・クリップはTTLレベルの信号線にだけ接続してください。TTLレベル以外の信号線に接続すると、正確なハイ・レベル、ロウ・レベルの検出ができません。また、電圧のレベルによってはIE-75001-Rのセンサを破壊する場合があります。
- 2** . 外部センス・クリップ1番を外部トリガ出力とする場合は、外部センス・クリップ1番が信号出力ラインに接続されていないことを確認してください。故障の原因となります。

外部センス・クリップを使用する場合は、次の順序で接続してください。

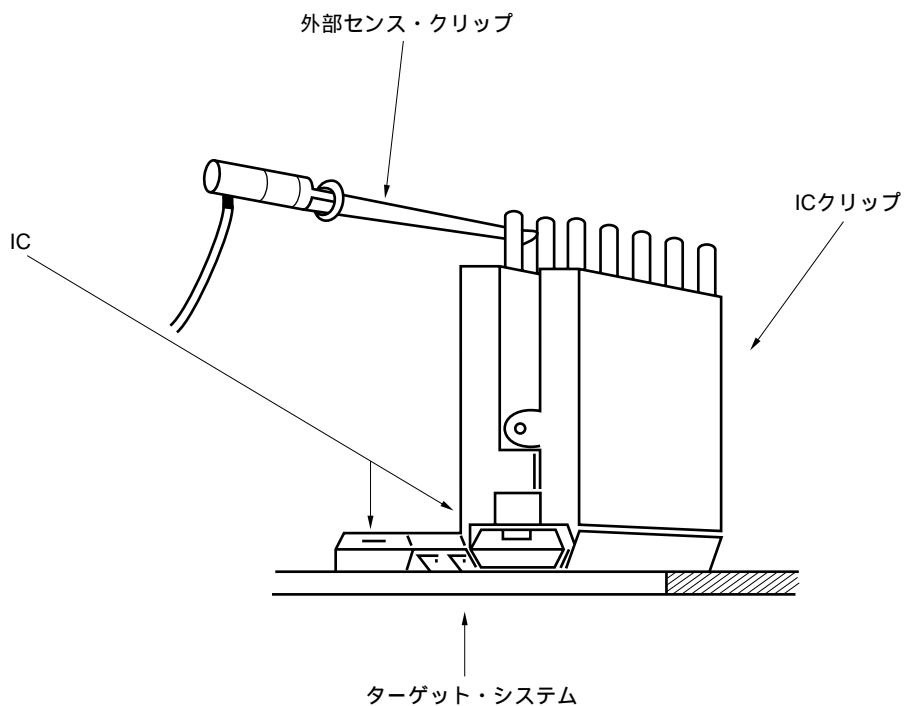
ターゲット・システム、IE-75001-Rの順で電源を切ります。

ターゲット・システム上の、これからトレースを実行する任意のICに、ICクリップ（市販）を取り付けます。

取り付けしたICクリップに、外部センス・クリップを接続します。

IE-75001-R、ターゲット・システムの順で電源を入れます。

図2 - 5 外部センス・クリップの接続



備考 外部センス・クリップを接続する場合は、できる限りICクリップを使用してください。ミス・タッチを防ぎ、操作性を上げることができます。

2.2 電源投入，切断の順序

エミュレーション・プローブとターゲット・システムの接続が終了したら，次に電源を投入します。電源の投入，切断の順序は次のとおりです。

注意 電源の投入，切断の順序は必ず守ってください。順序を間違えますとIE-75001-Rが破壊されることがあります。

(1) IE-75001-Rとターゲット・システムを接続した場合

◆電源の投入順序

IE-75001-Rの電源を入れます。

ターゲット・システムの電源を入れます。

◆電源の切断順序

ターゲット・システムの電源を切ります。

IE-75001-Rの電源を切ります。

2.3 ターゲット・システムからのエミュレーション・プローブの取り外し方

次の手順でターゲット・システムからエミュレーション・プローブを取り外します。

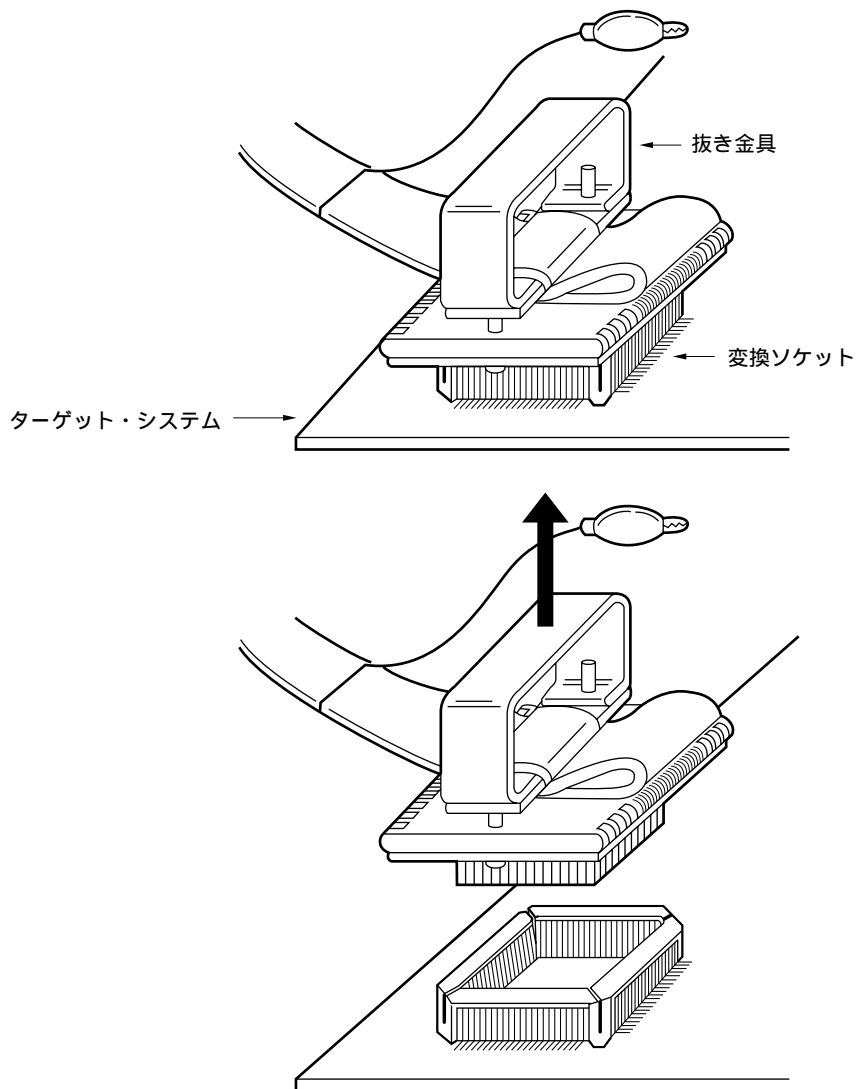
ターゲット・システムの電源を切ります。

IE-75001-Rの電源を切ります。

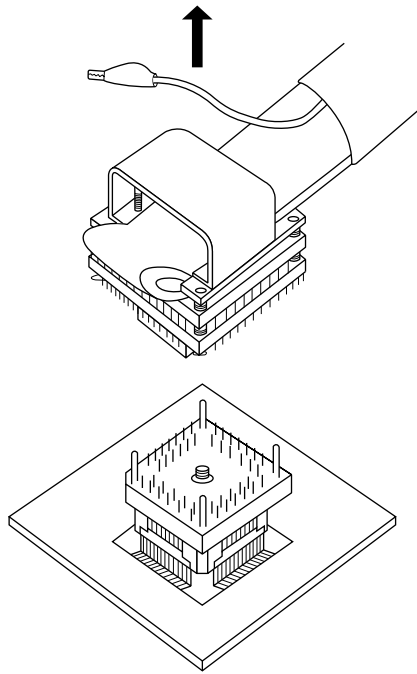
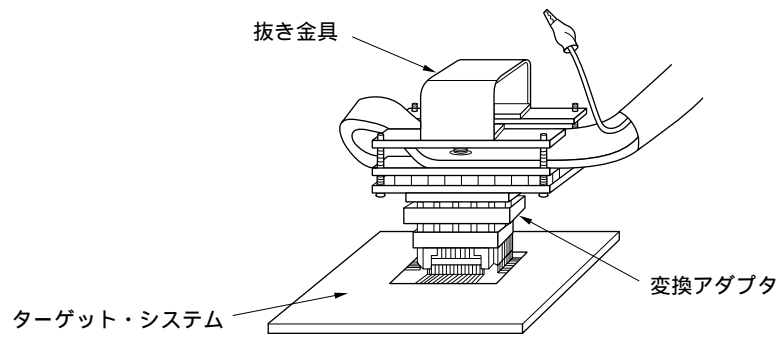
エミュレーション・プローブ先端部にある抜き金具を真上に引っばって、エミュレーション・プローブを変換ソケットまたは変換アダプタから抜き取ります。

図2 - 6 エミュレーション・プローブの取り外し

(a) EP-753017GC-Rの場合



(b) EP-753017GK-Rの場合



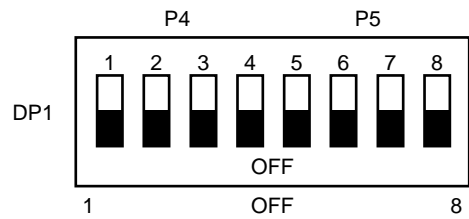
第 3 章 マスク・オプションの設定

3.1 ポート 4 , ポート 5 用マスク・オプションの設定

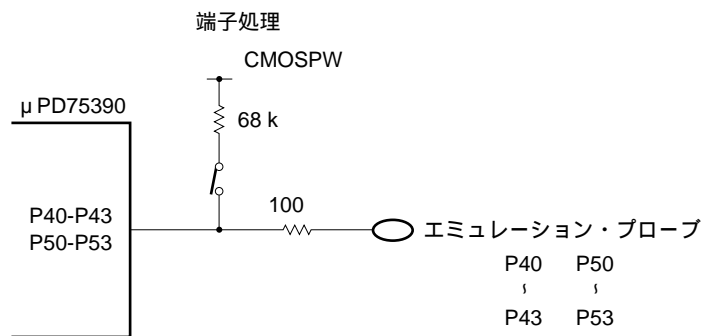
アダプタ・ボードのDP1スイッチは、ポート 4 , ポート 5 のマスク・オプション設定用スイッチです。このスイッチをONにするとプルアップ抵抗 (68 k) が接続されます。

出荷時には、DP1スイッチの設定はすべてOFFになっています。

図 3 - 1 DP1スイッチ対応図



SW・bit	信号名	SW・bit	信号名
DP 1 - 1	P40	DP 1 - 5	P50
- 2	P41	- 6	P51
- 3	P42	- 7	P52
- 4	P43	- 8	P53

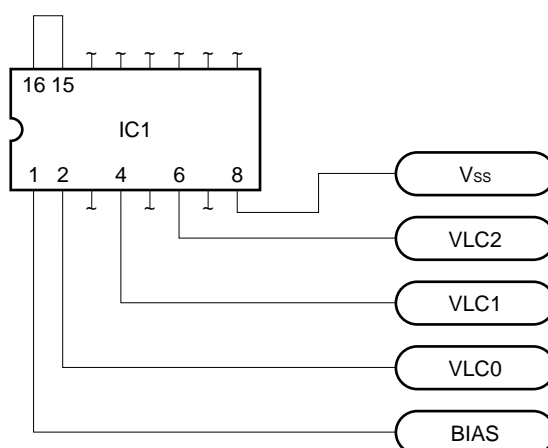


3.2 LCD駆動用分割抵抗の設定

アダプタ・ボードのICソケット（IC1）は、マスク・オプションで設定可能なLCD駆動用分割抵抗を設定するソケットです。

LCD駆動用分割抵抗の設定を行う場合は、抵抗を部品台に実装し、部品台をICソケットに挿入してください（図3 - 2参照）。

図3 - 2 IC1端子接続



付録A エミュレーション・プローブのピン対応表

表A - 1 80ピンGCおよび80ピンGKエミュレーション・プローブのピン対応表 (1/2)

CN5ピン 番号	エミュレーション・ プローブ	信号名	CN5ピン 番号	エミュレーション・ プローブ	信号名	CN5ピン 番号	エミュレーション・ プローブ	信号名
1	GND	GND	25	15	S26/BP2	49	34	P50
2	GND	GND	26	16	S27/BP3	50	33	GND
3	EXT0	EXT0	27	17	S28/BP4	51	32	P43
4	EXT1	EXT1	28	18	S29/BP5	52	31	P42
5	EXT2	EXT2	29	19	S30/BP6	53	41	P03/SI/SB1
6	EXT3	EXT3	30	20	S31/BP7	54	42	P10/INT0
7	EXT4	EXT4	31	21	COM0	55	43	P11/INT1
8	EXT5	EXT5	32	NC	NC	56	44	P12/INT2/TI1/TI2
9	EXT6	EXT6	33	NC	NC	57	45	P13/TI0
10	EXT7	EXT7	34	30	P41	58	46	P20/PTO0
11	1	S12	35	29	P40	59	47	P21/PTO1
12	2	S13	36	28	VLC2	60	48	P22/PCL/PTO2/REM
13	3	S14	37	27	VLC1	61	49	P23/BUZ
14	4	S15	38	26	VLC0	62	50	P30/LCDCL
15	5	S16	39	25	BIAS	63	51	P31/SYNC
16	6	S17	40	24	COM3	64	52	P32
17	7	S18	41	23	COM2	65	53	P33
18	8	S19	42	22	COM1	66	54	V _{DD}
19	9	S20	43	40	P02/SO/SB0	67	55	XT1
20	10	S21	44	39	P01/SCK	68	56	XT2
21	11	S22	45	38	P00/INT4	69	57	IC
22	12	S23	46	37	P53	70	58	X1
23	13	S24/BP0	47	36	P52	71	59	X2
24	14	S25/BP1	48	35	P51	72	60	P60/KR0

備考1 . CN5はIE-75001-Rを使用する場合にエミュレーション・プローブを接続するコネクタです。

2 . エミュレーション・プローブ欄の略号，数字の意味は次のとおりです。

GND : アース・クリップ (GND)

EXT0 - EXT7 : 外部センス・クリップ 1 番 - 8 番

1 - 80 : エミュレーション・プローブ先端の80ピンGC，または80ピンGKのピン番号

NC : No Connection

表A - 1 80ピンGCおよび80ピンGKエミュレーション・プローブのピン対応表 (2/2)

CN5ピン 番号	エミュレーション・ プローブ	信号名	CN5ピン 番号	エミュレーション・ プローブ	信号名	CN5ピン 番号	エミュレーション・ プローブ	信号名
73	61	P61/KR1	81	65	P71/KR5	89	76	S7
74	NC	NC	82	64	P70/KR4	90	75	S6
75	NC	NC	83	63	P63/KR3	91	74	S5
76	70	S1	84	62	P62/KR2	92	73	S4
77	69	S0	85	80	S11	93	72	S3
78	68	RESET	86	79	S10	94	71	S2
79	67	P73/KR7	87	78	S9	95	GND	GND
80	66	P72/KR6	88	77	S8	96	GND	GND

備考1 . CN5はIE-75001-Rを使用する場合にエミュレーション・プローブを接続するコネクタです。

2 . エミュレーション・プローブ欄の略号, 数字の意味は次のとおりです。

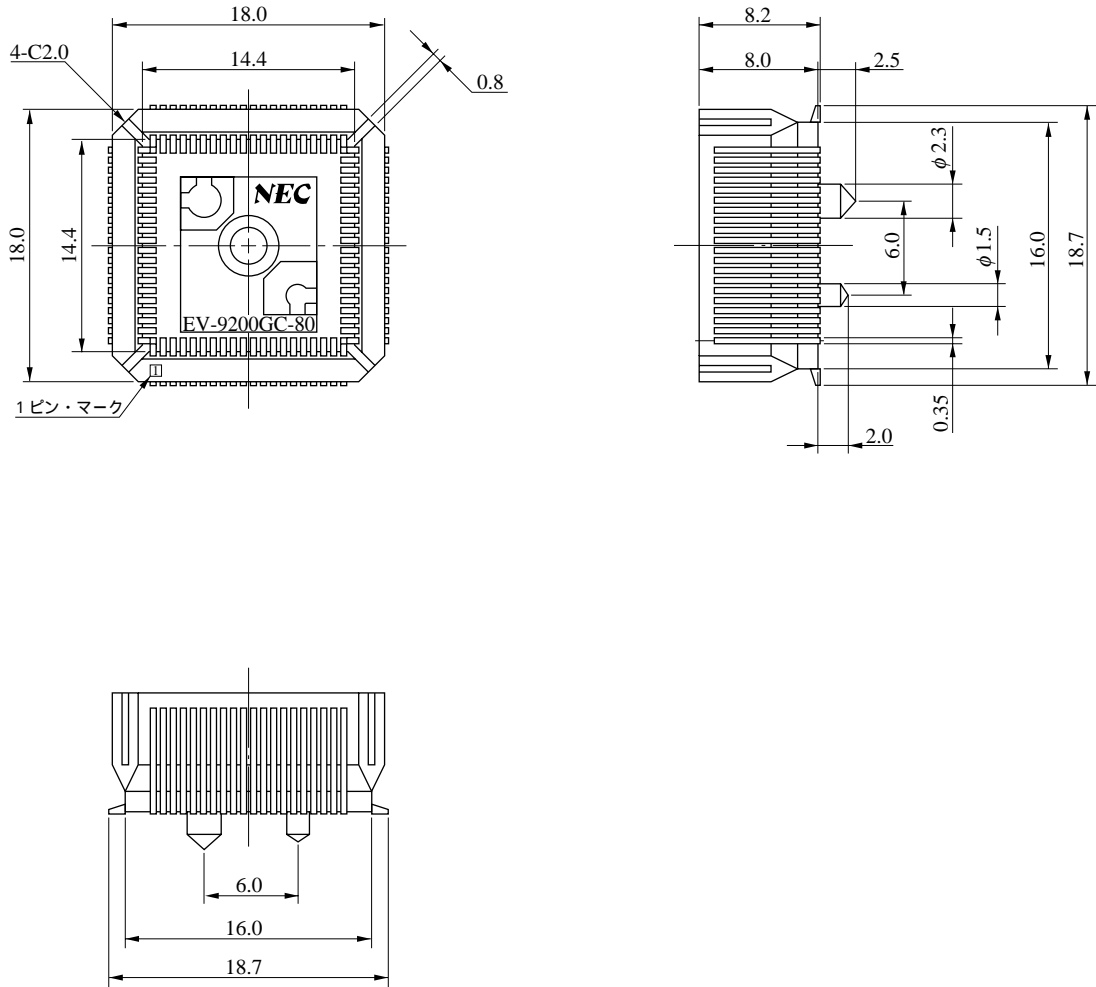
GND : アース・クリップ (GND)

1 - 80 : エミュレーション・プローブ先端の80ピンGC, または80ピンGKのピン番号

NC : No Connection

付録B 変換ソケット (EV-9200GC-80) の外形図と基板取り付け推奨パターン

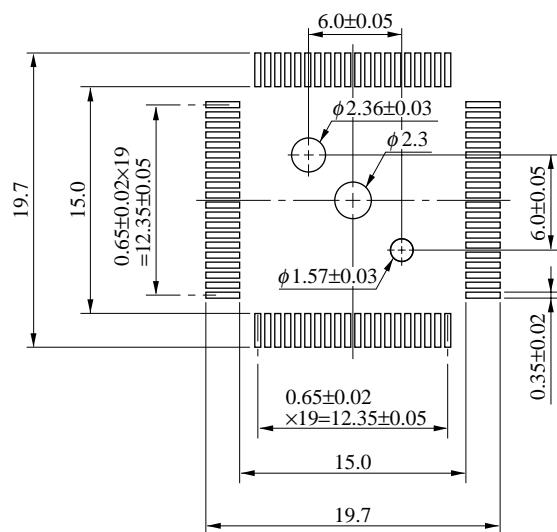
図B - 1 EV-9200GC-80外形図 (参考) (単位: mm)



EV-9200GC-80-G0



図 B - 2 EV-9200GC-80基板取り付け推奨パターン (参考) (単位: mm)



EV-9200GC-80-P0

注意 EV-9200用のマウント・パッド寸法と、対象製品のマウント・パッド寸法 (QFP用) は、その一部が異なる場合があります。QFP用の推奨マウント・パッド寸法は、「半導体デバイス 実装マニュアル, IEI-616」をご参照ください。

アンケート記入のお願い

お手数ですが、このドキュメントに対するご意見をお寄せください。今後のドキュメント作成の参考にさせていただきます。

[ドキュメント名] EP-753017GC-R, EP-753017GK-R ユーザーズ・マニュアル
(EEU-967 (第 1 版))

[お名前など] (さしつかえのない範囲で)
御社名(学校名, その他) ()
ご住所 ()
お電話番号 ()
お仕事の内容 ()
お名前 ()

1. ご評価 (各欄に をご記入ください)

項 目	大変良い	良 い	普 通	悪 い	大変悪い
全体の構成					
説明内容					
用語解説					
調べやすさ					
デザイン, 字の大きさなど					
その他 ()					
()					

2. わかりやすい所 (第 章, 第 章, 第 章, 第 章, その他)
理由 []

3. わかりにくい所 (第 章, 第 章, 第 章, 第 章, その他)
理由 []

4. ご意見, ご要望

5. このドキュメントをお届けしたのは
NEC販売員, 特約店販売員, NEC半応技本部員, その他 ()

ご協力ありがとうございました。

下記あてにFAXで送信いただくか, 最寄りの販売員にコピーをお渡しく下さい。

NEC半導体インフォメーションセンター
FAX : (044) 548-7900

— お問い合わせは、最寄りのNECへ —

【営業関係お問い合わせ先】

コンシューマ半導体販売事業部 OA半導体販売事業部 インダストリ半導体販売事業部	〒108-01 東京都港区芝五丁目7番1号 (NEC本社ビル)	東京 (03)3454-1111 (大代表)
中部支社 半導体販売部	〒460 名古屋市中区栄四丁目14番5号 (松下中日ビル)	名古屋 (052)242-2755
関西支社 半導体第一販売部 半導体第二販売部 半導体第三販売部	〒540 大阪市中央区城見一丁目4番24号 (NEC関西ビル)	大阪 (06) 945-3178 大阪 (06) 945-3200 大阪 (06) 945-3208
北海道支社 札幌 (011)231-0161 東北支社 仙台 (022)261-5511 岩手支店 盛岡 (0196)51-4344 山形支店 山形 (0236)23-5511 郡山支店 郡山 (0249)23-5511 いわき支店 いわき (0246)21-5511 長岡支店 長岡 (0258)36-2155 水戸支店 水戸 (0292)26-1717 神奈川支社 横浜 (045)324-5511 群馬支店 高崎 (0273)26-1255 太田支店 太田 (0276)46-4011 宇都宮支店 宇都宮 (0286)21-2281	小山支店 小山 (0285)24-5011 長野支社 長野 (0262)35-1444 松本支店 松本 (0263)35-1666 上諏訪支店 上諏訪 (0266)53-5350 甲府支店 甲府 (0552)24-4141 埼玉支社 大宮 (048)641-1411 立川支社 立川 (0425)26-5981 千葉支社 千葉 (043)238-8116 静岡支社 静岡 (054)255-2211 沼津支店 沼津 (0559)63-4455 浜松支店 浜松 (053)452-2711 北陸支社 金沢 (0762)23-1621	福井支店 福井 (0776)22-1866 富山支店 富山 (0764)31-8461 京都支社 京都 (075)344-7824 神戸支社 神戸 (078)332-3311 中国支社 広島 (082)242-5504 鳥取支店 鳥取 (0857)27-5311 岡山支店 岡山 (086)225-4455 四国支社 高松 (0878)36-1200 新居浜支店 新居浜 (0897)32-5001 松山支店 松山 (0899)45-4111 九州支社 福岡 (092)271-7700 北九州支店 北九州 (093)541-2887

【本資料に関する技術お問い合わせ先】

半導体応用技術本部 マイクロコンピュータ技術部	〒210 川崎市幸区塚越三丁目484番地	川崎 (044)548-7923	半導体 インフォメーションセンター FAX(044)548-7900 (FAXにてお願い致します)
半導体応用技術本部 中部応用システム技術部	〒460 名古屋市中区栄四丁目14番5号 (松下中日ビル)	名古屋 (052)242-2762	
半導体応用技術本部 西日本応用システム技術部	〒540 大阪市中央区城見一丁目4番24号 (NEC関西ビル)	大阪 (06) 945-3383	